



## NEWS RELEASE

株式会社 すららネット  
2021年6月1日

### すららネット 通信制学校管理職・教職員向け無料オンラインセミナーを開催 ICTを活用し、新たな取り組みを進める通信制学校事例を紹介

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：湯野川孝彦）は、通信制学校の管理職・教職員向け無料セミナー「ICTを活用した新たな取り組みにチャレンジしている学校事例セミナー」を6月17日（木）にオンライン開催することとなりました。

**開催日程** 6/17(木)14:00-15:30 **オンライン開催**

### 【通信制学校向け】 ICTを活用した新たな取り組みに チャレンジしている学校事例セミナー

#### 活用事例ご紹介

繋がりから生まれた生徒募集と、  
生きる力を育む国語の授業について  
北星学園余市高等学校 安河内 敏 氏



#### 活用事例ご紹介

Teachからcoachの指導へ  
～教員の働き方改革と生徒の夢実現を目指して～  
わせがく高等学校 教頭 丸山 昌利 氏



すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念とし、AI×アダプティブ教材「すらら」を、国内では約2,200校の塾、学校等に提供しています。全国の有名私立中高、大手塾での活用が広がる一方で、発達障がいや学習障がい、不登校、経済的困窮世帯を含む生徒に学習の機会を提供するなど日本の教育課題の解決を図ることで成長を続け代表的なEdTechスタートアップ企業として2017年に東証マザーズに上場しました。

AI×アダプティブラーニング教材「すらら」は小学校から高校までの国語、算数／数学、英語、理科、社会5教科の学習を、先生役のアニメーションキャラクターと一緒に、一人一人の理解度に合わせて進めることができるアダプティブなeラーニング教材です。レクチャー機能、ドリル機能、テスト機能により、一人一人の習熟度に応じて理解→定着→活用のサイクルを繰り返し、学習内容の定着をワンストップで実現できます。初めて学習す



## NEWS RELEASE

---

る分野でも一人で学習を進めることができる特長を生かし、小・中・高校、学習塾をはじめ、放課後等デイサービス等においても活用が広がっています。

このたびのセミナーは、通信制学校における課題である、新しい学びの模索、生徒のレポート作成、生徒募集、卒業後の進路未決定といったテーマに着目し、中学生までで不登校を経験している生徒も多く多様な生徒が通う中で「すらら」を活用し成果を上げている北星学園余市高等学校の安河内教諭、通信制学校の中でもいち早く ICT の活用に向け、「すらら」を学校課題解決に活用してきたわせがく高等学校の丸山教頭を講師にお迎えし、事例を交え紹介します。セミナーはオンライン会議システムを活用したオンラインセミナーの形式で実施します。

詳細・申込はこちらをご確認ください。

[https://surala.jp/school/seminar/0617\\_online\\_01.html](https://surala.jp/school/seminar/0617_online_01.html)

すららネットは今後も、新しい学習体験を届ける事業活動を通じ、学習者に「大人になっても役に立つ真の学力」と「努力をすれば結果が出るという自信」を提供していきます。



## NEWS RELEASE

### ■セミナー概要

#### ICTを活用した新たな取り組みにチャレンジしている学校事例セミナー

日時：2021年6月17日（木）14:00～15:30

対象：通信制学校の管理職ならびに教職員

開催方法：オンライン(Zoom)にて実施

講座内容（予定）：

1. アダプティブラーニング 「すらら」のご紹介
2. 通信制の課題とニーズから考える生き残り方
3. すらら導入校の先生方による活用事例ご紹介

「繋がりから生まれた生徒募集と、  
生きる力を育む国語の授業について」

北星学園余市高等学校 安河内 敏 氏

全日制でありながら、中学生までで不登校を経験している生徒約50%、他校での中退者30%と経験も年齢も多様な生徒が通う北星学園余市高等学校。

しかしながら、高校3年間を通じて生徒たちには変化が生まれ、進路決定率は90%以上という結果が出ています。

また、この3年間で生まれた繋がりが、生徒募集にもユニークな形で活かされています。

すららの使い方も交えながら、ノウハウをお伝えします。



「Teach から Coach の指導へ～

教員の働き方改革と生徒の夢実現を目指して～」

わせがく高等学校 教頭 丸山 昌利 氏

「すらら」導入7年目となる、わせがく高等学校。

通信制学校の中でもいち早くICTの活用に向け、課題解決の道を模索してきました。

これからは、通信制学校における教員の働き方改革と生徒の学びの個別最適化の実現を目指します。

